

1 1月12日カネカの中間期決算が発表されました。

2024年4～9月期 連結決算 (前年同期比)			2024年通期見込み
売上高	3959億円	7.0%増	7900億円(3.6%増)
営業利益	191億円	51.5%増	380億円(16.6%増)
経常利益	143億円	13.0%増	340億円(16.3%増)
純利益	101億円	14.2%増	245億円(5.5%増)

セグメント別業況

① Material Solutions Unit : 1Qから引き続き、MOD・MSが好調、塩ビは、前年並みの営業利益。Green Planet(生分解戦性プラスチック)は、家電・自動車向け発泡緩衝材用途での採用が始まるなど関心は一層高まる。量産実証プラントの立ち上げを着実に進めていく。

② Quality of Life Solutions Unit : E&I(電材)が、ポリイミドフィルム・アクリル樹脂の高水準の販売により大幅な増収増益。Foam(発泡)は、自動車分野や国内の農水産・建築分野での需要減、原料高の影響を受けた。Fiber(カネカロン)は、頭髮製品の販売が着実に回復。

③ Health Care Solutions Unit Medical : Medical(医療器)は、血液浄化器の北海道新プラント(苫東工場)が順調に稼働。血液浄化器・カテーテルともに販売が順調に拡大。同工場でのカテーテル新プラントの建設を決定。Pharma(医薬)は、一部で4Qへの出荷調整が発生し、販売減。

④ Nutrition Solutions Unit : Supplement(サプリメント)は、還元型Q10が米国向けで1Qの集中出荷の反動を受け2Qは在庫調整。Foods & Agris(食品・食料生産支援)は、採算改善が進み、強い増益基調。「B2C」事業(消費者向け)は、「わたしのチカラQ10ヨーグルト」などの新規機能性食品のラインナップ拡充、「Q10果実グミ」の拡販、有機乳製品の市場投入など、特徴ある高付加価値品の販売が拡大。